

茅ヶ崎セントラルクリニック 秋山 美文

- 功 績 医師の事務作業を削減し、安定した診療報酬入金につなげた功績
- 推 薦 者 並木 乃輔
- 推 薦 理 由 長い慣習を打破しようと率先して業務改革に取り組み、経営の安定化に貢献した。
また医療職のサポート部門を体現した行動力に対して、理事長賞に推薦します。

内 容

秋山は入職して5年目の医事課職員です。日々の業務にも真摯に向き合い、業務改善並びに向上に率先して取り組んでいます。

元々、返戻件数が多く、入金率が安定しない事が懸案事項であったが中々踏み込めずに、運営母体に変更になるのを機にレセプトの請求方法の改善に取り掛かりました。

今迄の返戻内容の分析を行い、症状詳記の不備が一番多い事に着眼しました。

要因となっていた日替わりで医師が派遣されている現状は、院長を中心として幹部が医師体制の固定化の改革に乗り出していたのと並行して、「事務の力でどうすれば改善出来るだろうか」という意識の下、「医師の事務作業の軽減」が一番効果的であると判断し、症状詳記を医事課が行い、医療的な判断を最終的に医師に判断していただく請求の流れとしました。

結果、平成24年度は28件、平成25年11月までは30件あった返戻が12月以降は0件と改善されました。平成26年7月現在、減点を除き、入金率99.9%の数字の継続につながっています。

また、毎月行っているレセプトの分析の際の数値集計プログラムの不具合を発見し、SEであった経験を活かして、精緻な数値が出るようにプログラムの改修を業者へ提案し、分析作業の大幅な効率化と信頼性の向上も実現しました。

医療職の手技を診療報酬に換算する事が使命であり、入金されないことは許されないという高い意識に基づき、業務に取り組んでいることも素晴らしいですが、サポート部門として経営にどう関わるかを率先して体現している事例だと思います。